

寸言

株式会社SkyDrive
代表取締役
福澤 知浩



空飛ぶクルマ 空の産業革命への挑戦

この度は、伝統ある日本航空宇宙工業会に入会させていただく事となり、大変光栄に存じます。

株式会社SkyDriveは、有志団体CARTIVATORのメンバーを中心に2018年7月に設立されました。

自動車や航空機、ドローンのエンジニア等がメインとなり、これまでにないモビリティである空飛ぶクルマ^{※1}そして、大きな荷物を運搬できるドローンの開発を進めております。

我々は、空を日常的に活用し生活をより豊かに、便利にする事を目指しております。

私は、以前、自動車会社で勤務しておりましたが、スマートフォンやSNSといったIT分野を中心に様々なイノベーションが起き、生活がより豊かに楽しくなる一方、自動車をはじめとするモビリティは、イノベーションがあまり起きていない事に気が付きました。

CARTIVATORメンバーと議論する中で、空飛ぶクルマこそがより豊かで楽しい生活を実現できるイノベティブな物であると考え、2014年に最初の開発に着手致しました。

空飛ぶクルマは既存の航空機と比較し、航続距離が短い事や積載重量が少ないといった課題がある一方、コンパクトさや静粛性に優れ、低コストでの実現が可能なため空を使った移動がより身近なものとなります。

従来の地上の移動は、道路や鉄道の線路等の既存インフラを利用する必要があるため、2点間の直線距離に対する遠回りや満員電車、交通渋滞といった課題があります。

また、空を移動する場合は空港に向かうまでに時間がかかってしまいますが、空飛ぶクルマの実現によって、最終的にはコンビニエンスストアの

駐車場やガソリンスタンドのようなコンパクトなスペースを利用した離発着を自動運転で行う事が可能となります。

従来では行く事が出来なかった場所へ行けたり、会えなかった人に会える等、より豊かな生活を送れるようになると確信しています。

2018年に官民協議会が開催されて以降、経済産業省、国土交通省、総務省の方や民間企業の方々と制度設計を進めさせていただいており、事業側・制度側共に開発が進行しております。

SkyDriveは2023年に空飛ぶクルマの最初のサービス開始を考えております。

また、大型な機体を安全に飛行できる技術を用いて、大きな荷物を運搬するカーゴドローンを開発し、こちらは既に販売を開始しております。

物流の大型ドローン、空飛ぶクルマを用いて空の産業発展に寄与すべく、今後も開発に邁進して参ります。

このような新規事業を進める中で、弊社はまだ技術的にも知見的にも未熟であるため、航空宇宙関係企業様との関係構築や情報共有をさせて頂けると大変ありがたいと思い、この度日本航空宇宙工業会に入会させていただきました。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※1 空飛ぶクルマとは：

正式名称を「電動垂直離着陸型無操縦者航空機 (eVTOL (electric vertical takeoff and landing))」と呼ばれ、電動化、完全自律の自動操縦、垂直離着陸が大きな特徴です。